

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京鹿の子絞



7世紀頃、インドから伝わった絞り染めは、17世紀には「かのこ」の名称で広く愛用される。絹織物の生地に、多種のくくり技法と、染め分け技法を駆使した複雑多彩な模様染めである。絞りの技法により疋田（ひった）絞、一目絞、傘巻絞、帽子絞などの種類がある。

制作：京都市

京都の伝統産業

Traditional Industries of Kyoto

京鹿の子絞



7世紀頃、インドから伝わった絞り染めは、17世紀には「かのこ」の名称で広く愛用される。絹織物の生地に、多種のくくり技法と、染め分け技法を駆使した複雑多彩な模様染めである。絞りの技法により疋田（ひった）絞、一目絞、傘巻絞、帽子絞などの種類がある。

制作：京都市